

杉並区立下井草図書館

名作文庫通信



2024年 春号



昭和30年、46歳の松本清張

春季特集 ミステリーはいかが？

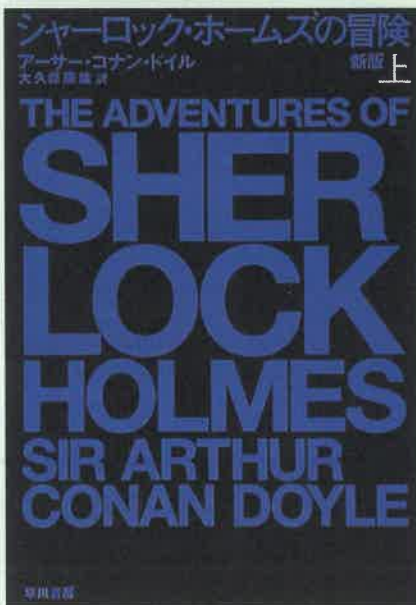
エドガー・アラン・ポー、コナン・ドイル、モーリス・ルブラン、アガサ・クリスティ、ロアルド・ダール……、名作文庫になっているミステリー作品を中心に、いろんな作品を紹介します。



【ゼロの焦点】

松本清張/著 新潮文庫/刊

新婚旅行の後、夫は赴任地である金沢へいき、失踪する。妻は、夫の足どりを追い、戦後を生き抜いた哀しい女性たちの運命に、夫が関わっていたことを知る……。松本清張の作品には名探偵は登場しない。犯罪動機と、犯罪を犯さなければならぬぎりぎりの心理を克明に描き、犯罪の背景にある現代社会の闇に光を当てる。清張の作品が社会派推理小説といわれるゆえんだ。作品に時代性や社会問題が描かれる。



【シャーロック・ホームズの冒険 上・下】

アーサー・コナン・ドイル/著 大久保康雄/訳 早川書房/刊

コナン・ドイルは1859年生まれ。森鷗外の三歳上だ。夏目漱石がロンドンに留学していたとき、『シャーロックホームズの帰還』が出版された。ドイルは開業医だったが、病院にあまり人がこなかったため、小説を書くようになった。ホームズシリーズが雑誌で連載されるや、大人気となった。ドイルは、歴史小説のほうに興味があり、連載を終わらせるため、作中でホームズを死亡させた。それでも、ホームズファンから、続編を熱望され、ホームズは生還することになる。『シャーロック・ホームズの冒険』は短編集の一作目。

「名作文庫」とは？

下井草図書館では文学、哲学、思想、歴史などの名著名作を文庫版・新書版で集め、「名作文庫」としてご紹介しています。



今月の1冊 心の旅を描く物語



【オリエント急行殺人事件】

アガサ・クリスティー/著 安原和見/訳 光文社古典新訳文庫/刊

世界のベストセラー作家は？ 第一位は聖書を書いた人。第二位はシェイクスピア。第三位が、ミステリーの女王、アガサ・クリスティーだろうといわれている。この作品の舞台は、数日ばかりで、ヨーロッパ大陸を横断するオリエント急行。豪華ホテルのような寝台車で殺人事件が発生。吹雪に閉じ込められた列車には、偶然、探偵ポアロが乗りこんでいた……。とにかく、読者を楽しませようとしたクリスティーの魅力が詰まった作品だ。

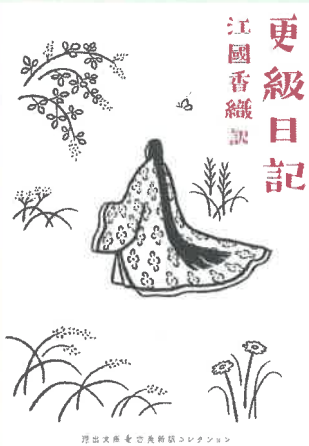
新着本 新しく買った本のご紹介



【仮名手本忠臣蔵】

松井今朝子/訳 河出文庫/刊

吉良上野介の横恋慕がきっかけで、浅野内匠頭は刃傷・切腹に追い込まれ…。赤穂浪士ドラマの原点であり、文楽や歌舞伎で上演され続けている傑作「仮名手本忠臣蔵」を、松井今朝子が現代語訳。解説、解題も収録する。(TRC MARKより)



【更級日記】

菅原孝標女/著 江國香織/訳 河出文庫/刊

東国・上総で「源氏物語」に憧れて育った少女は、京で念願の物語を入手。宮仕えと結婚を経て、やがて物詣でに励み、晩年は寂寥感の中、仏教に帰依し…。「更級日記」が江國香織の新訳で鮮やかに甦る。(TRC MARKより)

編集後記

老いて、狩りができなくなったライオンは、ねぐらの岩穴に見舞いにきた動物たちを食べて生き延びていた。穴の入口に狐がやってきた。ライオンは近くへおいで」というが、狐は動かない。「どうして入ってこないのか？」「いろんな動物の足跡がありますが、穴から出てきた足跡はないんです」。イノツブ物語の中のこの話、人類最古の推理小説だそうだ。

発行：杉並区立下井草図書館

杉並区下井草3-26-5

